

認知症を正しく知ろう

9/17~9/23は「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」です。

2025年には、高齢者の約5人に1人(約700万人)が認知症になると予想されています。認知症は、決してひとつではありません。高齢者だけでなく若い世代でも発症することがあります。まずは、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族にとってやさしい地域づくりを一緒に進めていきましょう。

鹿児島大学病院
石塚先生に
聞きました!



県基幹型認知症疾患医療センター
副センター長
石塚 貴周 先生

正しい知識と、認知症の方に対する正しい理解が大切です!

認知症は、さまざまな原因によって認知機能が低下し、日常生活に支障が出る「脳の病気」です。認知症のような症状に気付いたら、まずはかかりつけ医に相談し、必要に応じて、認知症専門の医療機関を受診しましょう。症状が出始めた早いうちに、診断と治療を受けると、その後の悩みや困り事を減らすことができます。

また、認知症の方に対しては、**さりげなく自然に支援する**という姿勢を心がけましょう。まずは見守り、やさしい口調で話しかけることが大切です。

こんなことがあったら
認知症かもしれません。

- 同じ事を言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこない
- 以前と性格が変わった
- 怒りっぽくなった
- ぼーっとしていることが多くなった

* 「認知症かな?」と思ったら
お気軽にご相談ください。

- 地域包括支援センター
- 若年性認知症支援相談窓口
- 認知症疾患医療センター
- 認知症の人と家族の会鹿児島支部



▲詳しくはこちら
(県HP)

* 認知症カフェをご活用ください。

「認知症カフェ」とは、認知症の方やそのご家族、地域の方、専門職の方などが気軽に集まり、交流を通じてお互いに理解し合う**地域の居場所**です。



* 開催状況については、各市町村にお問い合わせください。



▲詳しくはこちら
(県HP)

問い合わせ先 高齢者生き生き推進課 099-286-2701



人を、地域を、笑顔にする 介護職員になりませんか?

介護職の
魅力をご紹介します!

高齢化が進む今、介護現場での「人手不足」が深刻化しています。現場で働く方の声を通して、**介護の仕事の今**をご紹介します。

働きやすい介護現場の今



介護ロボットを活用

移乗介助ロボットを使うと、1人でも腰を痛めず移乗介助が可能に!

* 利用者の負担軽減にもつながっています。

特別養護老人ホームK



ICTを導入

利用者の健康状態や日々の記録をタブレットで管理!

* よりよいケアや残業時間の短縮につながっています。

小規模多機能ホームD



賃金もアップ!

国の賃上げ(処遇改善)や介護事業所の努力により、職員の給与は上昇!

* 職員の労働環境改善など、一定の要件を満たす事業所に、「処遇改善加算」が給付されています。

人生の先輩から「生き方」を学び、 人間として成長できる仕事です。

社会福祉法人溪州会
特別養護老人ホームはまかせ園
ふるた さえ
古田 紗恵 さん

小さい頃から大好きだった祖母が病気になり、日に日に弱っていく姿を見て、私も何か力になりたいと思ったことがきっかけで介護職に就きました。

利用者様一人一人の個性や背景に寄り添いながら、その方に合ったケアをする介護の仕事。9年たった今でも、難しさを痛感すると同時にやりがいも感じています。また、日々の生活のお手伝いをする中で、利用者様の笑顔や楽しそうな姿を目にした時、**とても嬉しく、私自身笑顔**になります。

今後は、ケアの幅を広げられるよう認知症や認知症ケアについての知識や理解も深めていきたいと考えています。



* 介護職員になりたいあなたへ

* 介護職を目指す方や介護福祉士の資格取得を目指す方に、**修学資金の貸し付け**を行っています。



詳しくはこちら
(県HP)

* 介護職への復職を希望する方に、**さまざまな研修制度**をご用意しています。お気軽にご相談ください。



詳しくはこちら
(県社会福祉協議会HP)



あなたの力を
お待ちしております!

問い合わせ先 介護保険室 099-286-2687